

第11回日展

第2科（洋画） 特選授賞理由

題名

GYM

授賞理由

彼は昔、ボクシングの経験がある。そのせいかボクシングの選手を描く事が多い。このところ自分がテーマになったり女性のアスリートを描いたが、この度は黒人を描くことによって今までとちがった厳しい作品になった。特選にふさわしい傑作である。

作者名

金築秀俊

題名

山林

授賞理由

山林の風景をモノトーン調にまとめながらも暖かな色味も感じるあかぬけた作品だ。図太さの中にも女性らしい柔らかな筆のタッチを感じ、大胆かつ繊細な仕上がりで、木々の生命を真摯に伝えようとしている力作だ。

作者名

福田次子

garden

授賞理由

作品はほぼ白と黒の世界で表現され、最小限の色彩と最大限の明暗とでバランスを保っています。だれもが気づかないであろう空間をエレガントに、そして贅肉を削ぎ落とした他に類を見ない構成となっています。

久保尚子

プロヴァンスの道

授賞理由

色彩の構図構成が洗練され、画面に豊かさと緊張感が表現されている佳作である。大らかで伸びのある筆致はととても魅力的である。次代の日展を担う若手作家として、伸び伸びと、制作して頂きたい。

山内大介

アヴェ・マリア

授賞理由

卓上静物と背景の描写が違和感無く調和し、柔らかい色調で描写力に優れ、清々しく神聖で特選に相応しい作品である。

佐藤 淳

支度

授賞理由

娘さんを長年描き続けている作家。近年、写真的表現が多いなか、大きなラインを基調に柔らかな線で表現している。一瞬の仕草を描き止めた気品のある作品。背景の処理が表現を際立てている。

山本佳子

青嵐

授賞理由

希望や不安。青春の心の中に吹き荒れる感情の嵐。色彩とムーブメントが巧みである。これからの日展でさらに活躍すべき逸材に期待する。

関野智子

朧梅

授賞理由

日本洋画の原点である外光派の作品をよく研究し、今作品は梅の前に佇む女性を自然光の中でとらえている。観察を通してモデルの特徴、実景から感じたものの色、光を的確にとらえ、良く表現されている。

結城唯善

遼遠

授賞理由

砂丘をテーマに長年取り組んでいる。これまでよりも抑揚豊かでその静穏を的確に表現している。見る者にその場の空気感を伝えるきめ細やかな描写で完成度が高く、特選に相応しい秀作である。

田辺康二

Biblio bibuli

授賞理由

デッサンの筆致が構成と空間を生む。絵具使いや色調も巧みな画面。不遜なポーズの女性と見上げる猫。今の日展にも他所にもない、アカデミックで斬新な絵を描く作家に大きく育つことを願い、推す。

吉成浩昭